



山梨県公立小中学校 教育課程実施状況調査

調査結果の概要

授業改善の *Point*

教育課程実施状況調査 小学校 社会

実施生徒数 (人)	設問数 (問)	県正答率 (%)	全国正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
588人	28問	59.4	65.4	-6.0

		県正答率 (%)	全国正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
領域	国土	54.9	61.4	-6.5
	農水	54.3	60.1	-5.8
	工業	62.1	68.5	-6.4
	情報	81.6	85.2	-3.6
	環境	46.1	53.7	-7.6
観点	知識・技能	57.8	64.8	-7.0
	思考・判断・表現	62.7	66.7	-4.0
	主体的に学習に取り組む態度	55.8	59.6	-3.8
解答形式	選択式	61.0	66.2	-5.2
	短答式	52.9	61.5	-8.6
	記述式	62.8	68.6	-5.8

設問別正答率

通し 番号	解答 形式	観点			領域				問題の内容	出題のねらい	県正 答率 (%)	全国 正答 率 (%)	全国 との 差	
		知	思	態	国土	農水	工業	情報						環境
1	選択	◎			◎					世界の中の国土	南アメリカ大陸の名称と南アメリカ大陸に位置する国の国旗について理解している。	38.1	38.2	-0.1
2	選択	◎			◎						日本の領土の範囲について理解している。	72.6	73.5	-0.9
3	記述		◎	◎	◎						海洋に囲まれ多数の島からなる国土の構成について、地図をもとに考え、表現している。	50.2	57.2	-7.0
4	選択	◎			◎					日本の国土と人々のくらし	日本の主な地形の名称と位置について理解している。	44.6	64.3	-19.7
5	選択	◎			◎						季節風についての理解をもとに、太平洋側の気候の特色を雨温図から読み取っている。	47.1	52.7	-5.6
6	短答	◎			◎						台風について理解している。	76.7	82.7	-6.0
7	短答	◎			◎					日本の農業	品種改良について理解している。	20.7	28.1	-7.4
8	選択		◎	◎	◎						農業が抱える課題を解決するための取り組みについて考えている。	90.6	93.1	-2.5
9	選択	◎			◎					日本の水産業	日本近海の漁獲量の多い港の特徴について、資料を読み取っている。	57.3	73.0	-15.7
10	選択		◎		◎						さいばい漁業の利点について、資料をもとに考えている。	59.2	63.6	-4.4

11	短答	◎				◎					農産物の生産額の割合についてグラフにまとめている。	56.5	58.9	-2.4
12	選択	◎				◎					日本の主な食料の自給率について理解している。	42.3	49.4	-7.1
13	選択		◎				◎				輸入などの外国との関わりにおける課題について考えている。	62.8	67.0	-4.2
14	選択		◎	◎			◎				地産地消の取り組みについて、複数の資料をもとに判断している。	44.7	47.3	-2.6
15	選択	◎						◎			自動車の製造工程について理解している。	87.4	93.9	-6.5
16	記述		◎	◎				◎			自動車工場を支える関連工場の役割について、資料をもとに考え、表現している。	75.5	79.9	-4.4
17	選択	◎						◎			自動車の部品を再利用する目的について理解している。	77.2	87.1	-9.9
18	選択	◎						◎			日本の主な工業地帯・工業地域について理解している。	44.0	47.1	-3.1
19	選択	◎		◎				◎			さまざまな輸送機関の特徴についての理解をもとに、資料を読み取っている。	52.4	51.8	0.6
20	選択	◎						◎			日本の主な輸出品・輸入品について理解している。	50.3	52.4	-2.1
21	短答	◎						◎			中小工場について理解している。	48.0	67.4	-19.4
22	選択	◎						◎			さまざまなメディアの特徴について理解している。	89.8	95.1	-5.3
23	選択		◎					◎			産業における情報活用の現状について考えている。	67.7	67.7	0.0
24	短答	◎						◎			情報通信機器の利用について、資料を読み取っている。	85.5	88.6	-3.1
25	選択		◎					◎			情報の発信と受信の注意点について考えている。	83.5	89.3	-5.8
26	選択	◎						◎			森林を守るための間伐について理解している。	78.6	82.7	-4.1
27	選択		◎	◎				◎			自然災害は国土の自然条件などに関連して発生していることについて、資料をもとに考えている。	29.9	34.9	-5.0
28	短答	◎						◎			公害について理解している。	29.8	43.5	-13.7

【観点について】

(知)知識・技能、(思)思考・判断・表現、(態)主体的に学習に取り組む態度

【領域について】

(国土)国土の自然などの様子、(農水)農業や水産業、(工業)工業生産、(情報)産業と情報との関わり、(環境)国土の自然環境と国民生活

成果及び課題が見られる設問は、主に「県正答率」「全国正答率との差」を踏まえて、取り上げています。

【成果が見られる設問】

通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
8	90.6	93.1	選択	-2.5
問題の内容	日本の農業			
出題のねらい	農業が抱える課題を解決するための取り組みについて考えている。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
19	52.4	51.8	選択	0.6
問題の内容	日本の工業生産			
出題のねらい	さまざまな輸送機関の特徴についての理解をもとに、資料を読み取っている。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
23	67.7	67.7	選択	0.0
問題の内容	情報を生かした産業			
出題のねらい	産業における情報活用の現状について考えている。			

【課題が見られる設問】

★次のページに、通し番号4「日本の国土と人々の暮らし」に関連した授業例を提示

通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
4	44.6	64.3	選択	-19.7
問題の内容	日本の国土と人々の暮らし			
出題のねらい	日本の主な地形の名称と位置について理解している。			
授業改善の手立て	日本の国土の様子と国民生活について、社会的事象の見方・考え方を働かせ、例えば、「日本の地形や気候にはどのような特色があるか」、「人々は地形条件や気候条件をどのように生かしているか」等の問いを設けて、個々の児童が、調べたり、国土の位置と地形や気候を関連付けて国土の特色を考えたり、国土の自然環境と国民生活の関連を考えたりして、調べたことや考えたことを表現することを通して、日本の国土の地形や気候の概要について理解を目指すような展開が考えられる。 ※第4学年「県内の伝統や文化、先人の働き」や第6学年「我が国の歴史上の主な事象」の内容の取り扱いで世界遺産や日本遺産を取り上げることが明記されていることを踏まえ、系統的に教材を選ぶという視点も考えられる。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
9	57.3	73.0	選択	-15.7
問題の内容	日本の水産業			
出題のねらい	日本近海の漁獲量の多い港の特徴について、資料を読み取っている。			
授業改善の手立て	日本の食料生産について、社会的事象の見方・考え方を働かせ、例えば、「どこでどのようなものが生産されているか」、「生産量はどのように変化しているか」、「外国とどのような関わりがあるか」「なぜ、〇〇では水産業がさかんなのか」等の問いを設けて、個々の児童が、調べたり、食料生産と国民生活を関連付けて考えたりして、調べたことや考えたことを表現することを通して、日本の食料生産の概要についての理解を目指すような展開が考えられる。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
21	48.0	67.4	短答	-19.4
問題の内容	日本の工業生産			
出題のねらい	中小工場について理解している。			
授業改善の手立て	日本の工業生産について、社会的事象の見方・考え方を働かせ、例えば、「日本はどのような工業がさかんか」、「工業のさかんな地域はどのように広がっているか」、「工業製品はどのように改良されてきたか」等の問いを設けて、個々の児童が、調べたり、工業製品と国民生活を関連付けて考えたりして、調べたことや考えたことを表現することを通して、日本の工業生産の概要についての理解を目指すような展開が考えられる。 ※第5学年内容(3)ア(イ)に関連した単元で、工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解した上で、日本の中小工場について再考する場面を設定することも考えられる。			

こんな姿をめざしたい!!



自ら課題を捉え、学習を調整しながら 追究する児童

課題の見られる設問 ①(2) ②(1)

【日本の国土と国民生活】

- 日本の海岸線が長い理由について、地図を参考にして記述する問題。
- 日本の主な地形の名称と位置について、地図から選択する問題。

分析と課題

- 基本的な用語や地図やグラフの読み取り等の知識・技能の定着に課題が見られる。
- 社会的事象の特色の説明に課題が見られる。

課題改善のために...

- 身に付けさせたい資質・能力の明確化
- 社会的事象の見方・考え方を働かせた問題解決的学習の実施
 - 課題設定の工夫
 - 学習者主体の学びの視点からの学習過程の工夫



5 学年の学習で...

日々の学習における改善・充実

※本時刻は、学習指導要領第5学年内容(1)ア(7)を基に単元を構成した際の、単元中の1時間を想定したものである。学習指導要領で示された理解項目の習得のためには単元全体をデザインする等、系統的な視点も重要である。(R4「授業改善のpoint」参照)

学習指導要領の理解項目について、児童一人一人が調べまとめる中で理解できるようにするためには...

授業改善の POINT

児童は課題意識をもっていますか？

児童が課題の解決を目指して資料を活用して追究していますか？

児童が協働的な学びから自らの学びを振り返り、調整しようとしていますか？

児童は課題追究を通して理解できていますか？また、新たな課題を見出していますか？

これは、日本と中国の海岸線の長さですが...



えっ？面積は小さいのに、なぜ日本の方が海岸線が長い？



日本の国土の様子に関しているのではないかな？

児童の疑問を引き出す工夫をしていますか？

日本の国土は、どのような様子なのだろう？

私は、教科書(地図帳)を使って調べ、まとめてみます。



資料集も使って、さらに情報を集めてみよう。



あっ！〇〇さんのこの記述、参考にさせてもらおう。



私は、教科書などで調べ終わったから、インターネットを使って他の国の様子も調べてみよう。

児童とともに、理解させたいことにつながる単元の学習問題や各時間の学習課題を設定していますか？

情報収集、読み取り、まとめ等の指導を積み重ねた上で、学習活動を児童に委ねてみませんか？

調べてみて日本の国土は、世界の国と比べてみると島が多いことがわかったよ。



世界の中で、どれくらい多い方なのだろう？

調べたことを友達に説明していたら、自分の理解が十分でないところがわかったぞ。もう一度まとめを見直してみよう。



どこからどこまでを日本の国土というのでしょうか？



児童の様子を見ながら、位置や空間的な広がり等の「見方」、比較等の「考え方」を意識できる支援をしていますか？

比較するためにはどのような資料が必要でしょうか？

「島が多い」ということはどんな影響があるのでしょうか？

日本の国土について次のことがわかりました。
 ・ユーラシア大陸の東に位置している。
 ・海に囲まれている。
 ・4つの大きな島のほかにもたくさんの島がある。
 また、世界の国々と比べると海岸線が長いのは、島国であることと関係していることがわかりました。



海のない国では、どのような生活をしているのだろうか？



島国である日本ではどのような生活をしているのかな？

「第5学年 2内容(1)ア(1) 我が国の国土の様子と国民生活」の学習へ

児童が、社会的事象の見方・考え方を働かせて、
学習問題を追究する問題解決的な学習過程の工夫をしよう！

教育課程実施状況調査 小学校 理科

実施生徒数 (人)	設問数 (問)	県正答率 (%)	全国正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
585人	30問	56.9	61.1	-4.2

		県正答率 (%)	全国正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
領域	物質・エネルギー	50.8	55.0	-4.2
	生命・地球	59.6	63.8	-4.2
観点	知識・技能	62.9	67.1	-4.2
	思考・判断・表現	51.0	55.2	-4.2
	主体的に学習に取り組む態度	54.7	58.7	-4.0
解答形式	選択式	62.3	66.6	-4.3
	短答式	54.1	58.2	-4.1
	記述式	39.0	42.8	-3.8

設問別正答率										
通し番号	解答形式	観点			領域	問題の内容	出題のねらい	県正答率 (%)	全国正答率 (%)	全国との差 (ポイント)
		知	思	態						
1	選択	◎			◎	天気の変化	春の頃の日本付近では、雲がおよそ西から東へ動くことを理解している。	50.6	63.9	-13.3
2	選択		◎		◎		雲の動きと天気の変化の関係について、判断するために必要な情報を指摘できる。	43.9	47.8	-3.9
3	短答	◎			◎		台風について理解している。	79.8	84.1	-4.3
4	選択		◎◎		◎		雨や風のようなすの変化と雲画像から、住んでいる地域を指摘できる。	87.2	89.0	-1.8
5	短答	◎			◎	魚のたんじょう	メダカの雌雄を区別し、メダカにたまごをうませるためには、おすとめすが必要であることを理解している。	82.6	87.9	-5.3
6	選択	◎			◎		メダカのたまごの中の変化のようすを理解している。	86.2	89.4	-3.2
7	選択	◎			◎		孵化したばかりの子メダカの育ち方を理解している。	86.7	87.0	-0.3
8	短答	◎			◎	人のたんじょう	人の受精卵について理解している。	74.5	76.5	-2.0
9	選択	◎			◎		母体の中での胎児の成長のしかたや育つ期間を理解している。	86.8	92.2	-5.4

10	短答	◎			◎		受粉について理解している。	72.3	78.3	-6.0
11	短答		◎		◎	植物の花のつくりと実	タンポポの花のつくりから、アサガオと共通するつくりを推測できる。	14.0	16.6	-2.6
12	選択		◎		◎		アサガオとタンポポの花のつくりの共通点を指摘できる。	60.0	64.9	-4.9
13	短答	◎			◎		運搬のはたらきについて理解している。	79.8	80.6	-0.8
14	短答		◎	◎	◎	流れる水のはたらき	川原の石の大きさや形について、予想が正しかった場合に得られる実験の結果を構想できる。	69.2	76.3	-7.1
15	選択		◎		◎		川の曲がったところにおける侵食のはたらきについて理解し、実際に行われている防災の工夫に適用できる。	51.5	58.8	-7.3
16	記述		◎	◎	◎		実験における条件制御の誤りを指摘し、説明できる。	52.5	53.1	-0.6
17	選択		◎		◎	物のとけ方	グラフを読み、食塩とミョウバンの水へのとけ方について指摘できる。	77.1	80.5	-3.4
18	選択		◎		◎		水にとけた食塩とミョウバンを取り出す方法について指摘できる。	32.6	35.5	-2.9
19	短答	◎			◎		スライドガラスについて理解している。	23.4	26.1	-2.7
20	選択	◎			◎	けんび鏡の使い方	顕微鏡の使い方を身に付けている。	56.4	58.1	-1.7
21	短答	◎			◎		顕微鏡の倍率の求め方を理解している。	38.8	36.2	2.6
22	選択	◎			◎		電流の流れる向きと電磁石の極の関係について理解している。	65.0	67.4	-2.4
23	選択		◎		◎	電流のはたらき	電磁石のはたらきについて調べるための対照実験を構想できる。	69.4	81.7	-12.3
24	記述		◎	◎	◎		電磁石の性質を実際に利用されているものに適用し、説明できる。	21.0	29.3	-8.3
25	短答	◎			◎		ふりこの1往復する時間の求め方を身に付けている。	14.2	14.2	0.0
26	選択		◎		◎	ふりこのきまり	ふりこの1往復する時間について、予想が正しかった場合に得られる実験の結果を構想できる。	56.8	60.5	-3.7
27	選択		◎		◎		ふりこの実験における条件制御の誤りを指摘できる。	68.5	72.4	-3.9
28	短答	◎			◎		でんぷんについて理解している。	46.3	63.9	-17.6
29	選択		◎		◎	植物の発芽と成長	どんぐりの養分について仮説を立て、問題を解決する実験の方法を構想し、指摘できる。	17.6	16.0	1.6
30	記述		◎	◎	◎		植物の成長と日光の関係について実際の植生に適用し、説明できる。	43.6	46.0	-2.4

【観点について】

(知)知識・技能、(思)思考・判断・表現、(態)主体的に学習に取り組む態度

【領域について】

(物工)物質・エネルギー、(生命・地球)生命・地球

成果及び課題が見られる設問は、主に「県正答率」「全国正答率との差」を踏まえて、取り上げています。

【成果が見られる設問】

通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
7	86.7	87.0	選択	-0.3
問題の内容	魚のたんじょう			
出題のねらい	孵化したばかりの子メダカの育ち方を理解している。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
4	87.2	89.0	選択	-1.8
問題の内容	天気の変化			
出題のねらい	雨や風のようなすの変化と雲画像から、住んでいる地域を指摘できる。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
13	79.8	80.6	短答	-0.8
問題の内容	流れる水のはたらき			
出題のねらい	運搬のはたらきについて理解している。			

【課題が見られる設問】

☆次のページに、通し番号24「電流のはたらき」の言語活動における改善ポイントを提示

通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
28	46.3	63.9	短答	-17.6
問題の内容	植物の発芽と成長			
出題のねらい	でんぷんについて理解している。			
授業改善の手立て	発芽と種子の養分との関係について見いだした問題を解決するために、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、実験を行い、植物は種子の中の養分を基にして発芽することを捉えるようにする。また、複数の対象(植物)について調べ、調べたことを関係付けることができるようにする。1人1台端末を活用し、撮影した映像やインターネットの情報等を共有し、実際に調べたことを整理しながら、科学的な言葉についての理解を図っていくことが考えられる。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
23	69.4	81.7	選択	-12.3
問題の内容	電流のはたらき			
出題のねらい	電磁石のはたらきについて調べるための対照実験を構想できる。			
授業改善の手立て	問題解決の過程の中で、学年を通して育成を目指す問題解決の力に着目する。「差異点や共通点を基に、問題を見いだす力」「既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力」「予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力」「より妥当な考えをつくりだす力」の中で「予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力」を育成する手立てとして、実験計画の立案をクラウド上で共有し、それらを比較する中で他者の考えを受け、制御すべき要因と制御しない要因を区別し、計画を検討する学習活動が考えられる。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
24	21.0	29.3	記述	-8.3
問題の内容	電流のはたらき			
出題のねらい	電磁石の性質を実際に利用されているものに適用し、説明できる。			
授業改善の手立て	問題解決を通して習得した知識と、日常生活との関連を考える場面を設定する。例えば、生活の中で電磁石の性質を利用したものについて調べ、まとめたものをクラウド上で共有し、学級全体で閲覧することができるようにしておく。そのことで、電磁石はコイルに電流が流れている間だけ磁石の性質をもつことなど、電磁石の性質についての理解を図っていくことが考えられる。			

習得した知識を日常生活との関わりの中で 捉え直し、より深く理解する児童



課題の見られる設問 ⑧ (3)

- 電磁石の性質を実際に利用されているものに適用し、説明する問題。
- 電磁石のはたらきについて調べるために対照実験を構想できるかを問う問題。

分析と課題

- 習得した知識を次の学習や生活などに生かすことや、科学的な言葉や概念を理解して説明することに課題が見られる。
- 知識及び技能の定着に課題が見られる。

課題改善のために…

- 表現（アウトプット）の機会を充実させる。その際に、科学的な言葉を用いることができるように留意する。
- 複数の対象にふれ、関連付けることのできる機会を設定する。

高学年の学習で

日々の学習における改善・充実

「私たちの生活に電気は欠かすことができないね。」

「電気をむだなく使うことは大切だね。」

「私たちの身のまわりには、プログラミングを利用しているものがあります。みなさん知っていますか。」

公園の街灯は、夕方になるとあかりがつくね。

うちの車のライトも、夕方暗くなるとくって、聞いたことがある。

公民館にあるトイレに入ると、勝手にあかりがつくね。

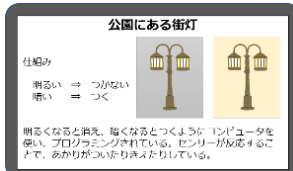
家の庭にあるライトも、人が近づくとつくよ。

駅にあるエスカレーターは、普段はとまっているけど、人が近づくと突然動き出すよ。

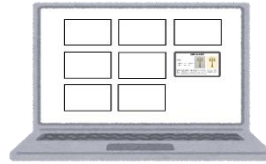
私たちの身のまわりには、プログラミングを利用しているものが、たくさんありそうですね。

それらはどのようにプログラムされているのでしょうか？調べて、まとめてみましょう！

児童それぞれが調べ、端末にまとめたものの例



児童それぞれが調べたものを端末にまとめてみると



私は、公園にある街灯について調べてみたよ。友達は、どんなものを調べたのかな。それはどのようにプログラムされていたのかな。

〇〇さんは自動車のライトについて、調べているな。似ているところがあるな。

◇◇さんと□□さんは、駅のエスカレーターを調べているな。人が近づくと動き出すんだ。

△△さんは、公民館のトイレについて調べているぞ。どんな仕組みなのか聞いてみよう。

私たちのまわりには、プログラミングを利用しているものがたくさんありましたね。同じところや似ているところ、違うところはありますか？

いろいろなセンサーが使われているね。

コンピュータを使ってプログラミングしているんだね。

それによって、電気は効率的に使われているんだね。

明るさに反応するセンサーや人に反応するセンサーがあるよ。他にもセンサーはあるのかな。

センサーとコンピュータを利用してプログラミングし、効率的に電気を使うように工夫されているものもある。

ここが POINT

- 表現（アウトプット）する活動を設定し、既習の科学的な言葉を使い表現するように留意する。何度も活用することで、定着を図る。
- 複数の対象に触れることができるように工夫し、それらを関連付け、より深く理解できるようにする。

表現（アウトプット）する機会を充実させよう！
複数の対象に触れ、関連付けて考えさせよう！



教育課程実施状況調査 中学校 社会

実施生徒数 (人)	設問数 (問)	県正答率 (%)	全国正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
557人	28問	53.3	54.5	-1.2

		県正答率 (%)	全国正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
領域	地理	55.7	55.9	-0.2
	歴史	50.6	52.8	-2.2
観点	知識・技能	59.6	60.9	-1.3
	思考・判断・表現	43.7	44.5	-0.8
	主体的に学習に取り組む態度	44.5	46.5	-2.0
解答形式	選択式	58.2	59.0	-0.8
	短答式	43.7	45.7	-2.0
	記述式	33.3	35.5	-2.2

設問別正答率											
通し番号	解答形式	観点			領域		問題の内容	出題のねらい	県正答率 (%)	全国正答率 (%)	全国との差
		知	思	態	地	歴					
1	選択	◎			◎		日本の地域的特色と地域区分	日本の地形の特色について理解している。	71.6	71.3	0.3
2	選択		◎		◎			日本の気候の特色について考察している。	63.6	60.2	3.4
3	短答	◎			◎			日本の資源・エネルギーにかかわる課題について理解している。	88.0	86.9	1.1
4	選択		◎	◎	◎			日本の人口や産業について、複数の資料をもとに判断している。	65.7	65.5	0.2
5	選択	◎			◎		日本の諸地域	九州地方、近畿地方、中部地方の地形について理解している。	80.8	77.4	3.4
6	選択		◎		◎			日本の各地方の産業について考察している。	32.9	35.7	-2.8
7	短答	◎			◎			日本の過疎問題の解決に向けた取り組みについて理解している。	68.0	66.5	1.5
8	記述		◎	◎	◎			日本の交通と産業の関係について、複数の資料をもとに考察し、表現している。	58.3	59.5	-1.2
9	選択	◎			◎	◎	地域調査の手法	八方位の理解をもとに、地形図を読み取っている。	73.1	80.1	-7.0
10	短答	◎			◎			縮尺について理解している。	44.9	41.6	3.3

11	選択	◎		◎	地域調査の手法	地形図を読み取っている。	82.2	82.0	0.2
12	選択		◎◎◎			地形図から読み取れる地形の特色について、資料をもとに考察している。	59.8	61.8	-2.0
13	選択	◎		◎	ヨーロッパ人との出会いと全国統一	鉄砲の伝来について理解している。	85.1	85.8	-0.7
14	選択	◎		◎		宗教改革について理解している。	46.0	47.5	-1.5
15	選択		◎◎	◎		織田信長・豊臣秀吉の統一事業の共通点について、資料に着目して考察している。	53.3	55.2	-1.9
16	選択	◎		◎		桃山文化について理解している。	62.1	58.5	3.6
17	短答	◎		◎	江戸時代	江戸時代を代表する文化について理解している。	29.8	41.0	-11.2
18	選択	◎		◎		三都の繁栄について理解している。	70.2	66.9	3.3
19	選択	◎		◎		アイヌの人々との交易について理解している。	53.9	56.7	-2.8
20	短答	◎		◎		工場制手工業について理解している。	13.6	19.3	-5.7
21	選択		◎◎	◎		開国による日本の社会への影響について、複数の資料をもとに判断している。	44.2	45.8	-1.6
22	選択	◎		◎	明治時代	明治政府の諸改革について理解している。	51.0	56.3	-5.3
23	選択		◎	◎		樺太・千島交換条約に関して、当時確定した国境を資料をもとに判断している。	56.4	55.5	0.9
24	選択	◎		◎		西南戦争が起こった背景について理解している。	43.8	49.9	-6.1
25	選択	◎		◎		立憲制国家の仕組みについて、資料を読み取っている。	49.0	48.3	0.7
26	短答		◎◎◎		日本の地域的特色と地域区分	日本の産業についての理解をもとに、日本の交通の特色について、複数の資料をもとに考察している。	17.8	18.9	-1.1
27	記述		◎◎◎		日本の諸地域	関東地方の人口と通勤の関係について、複数の資料をもとに考察し、表現している。	8.3	11.5	-3.2
28	選択		◎◎◎			日本の各地方の産業等について、資料をもとに考察している。	20.1	20.3	-0.2

【観点について】

(知)知識・技能、(思)思考・判断・表現、(態)主体的に学習に取り組む態度

【領域について】

(地)地理、(歴)歴史

成果及び課題が見られる設問は、主に「県正答率」「全国正答率との差」を踏まえて、取り上げています。

【成果が見られる設問】

通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
2	63.6	60.2	選択	3.4
問題の内容	日本の地域的特色と地域区分			
出題のねらい	日本の気候の特色について考察している。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
16	62.1	58.5	選択	3.6
問題の内容	ヨーロッパ人との出会いと全国統一			
出題のねらい	桃山文化について理解している。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
18	70.2	66.9	選択	3.3
問題の内容	江戸時代			
出題のねらい	三都の繁栄について理解している。			

【課題が見られる設問】

☆次のページに、通し番号24「明治時代」に関連した授業例を提示

通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
17	29.8	41.0	短答	-11.2
問題の内容	江戸時代			
出題のねらい	江戸時代を代表する文化について理解している。			
授業改善の手立て	文化に関する人物や作品等の伝達ではなく、「産業の発達と文化の担い手の変化」などに着目して課題(問い)を設定し、個々の生徒が、都市を中心とした経済が形成されていく中で、日本の文化の空間的な広がりが生み出され、それを背景として各地方の生活文化が生まれたことや、生産技術の向上や交通の整備と町人文化の特徴などを考察し、その結果を表現する活動などを工夫して、町人文化が大阪・京都・江戸などの都市を舞台に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことの理解を目指すという展開が考えられる。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
24	43.8	49.9	選択	-6.1
問題の内容	明治時代			
出題のねらい	西南戦争が起こった背景について理解している。			
授業改善の手立て	歴史的事象や関連する語句の伝達ではなく、「明治政府の諸改革の目的」などに着目して課題を設定し、個々の生徒が、明治政府の諸改革の背景や、明治政府の諸改革が、政治や文化、人々の生活に与えた影響を考察し、その結果を表現する活動などを工夫して、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことの理解を目指すという展開が考えられる。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
27	8.3	11.5	記述	-3.2
問題の内容	日本の諸地域			
出題のねらい	関東地方の人口と通勤の関係について、複数の資料をもとに考察し、表現している。			
授業改善の手立て	地理的事象や関連する語句の伝達ではなく、人口や都市・村落の立地や機能に関する特色ある事象を中核として、それを個々の生徒が、地形や気候、そこで暮らす人々の生活・文化、都市が発展した歴史的背景、産業、交通・通信網などと関連付けて、複数の資料を多面的・多角的に調べ、考察し、その地域の地域的特色や地域の課題の理解を目指すという展開が考えられる。			

こんな姿を
めざしたい!!



自ら課題を見出し、学習を調整しながら 追究する生徒

課題の見られる設問 6(3) 7(2)

- 明治時代における西南戦争が起こった背景について理解し、選択する問題。
- 関東地方の人口と通勤の関係について、複数の資料をもとに考察し、表現する問題。

分析と課題

- 社会的事象の意味や背景の理解に課題が見られる。
- 複数の資料をもとに考察し、表現することに課題が見られる。

課題改善のために...

- 身に付けさせたい資質・能力の明確化
- 社会的な見方・考え方を働かせた問題解決的学習の実施
 - 課題設定の工夫
 - 学習者主体の学びの視点からの学習過程の工夫



歴史的分野の学習で...

日々の学習における改善・充実

※本時刻は、学習指導要領(歴史的分野C(1)ア(4))を基に単元を構成した際の、単元中の1時間を想定したものである。学習指導要領で示された理解目標の習得のためには単元全体をデザインする等、系統的な視点も重要である。(R4「授業改善のpoint」参照)

授業改善の POINT

これは西郷隆盛と新政府との戦いの様子なのですか...



えっ？西郷隆盛って新政府の中心となったって、小学校で学んだ気がするけれど...



明治時代になって士族の生活に何か変化があったのかな。

生徒の疑問を引き出す工夫をしていますか？

生徒は課題意識をもっていませんか？

なぜ、江戸幕府を倒す主力であった士族が新政府に反乱を起こしたのだろう？

※児童一人一人が別の課題に取り組むような展開も考えられる。(学力調査を踏まえた授業力アップ研修会)資料参照)

生徒とともに、理解させたいことにつながる単元の学習問題や各時間の学習課題を設定していますか？

生徒が課題の解決を目指して資料を活用して追究していますか？

教科書には「新政府への不満」と書いてある。不満についてまとめてみよう。

西郷隆盛の他にも士族の反乱が起こったのかいくつかの資料を比較して調べてみよう。

あっ！OOさんのこの記述、参考にさせてもらおう。

私は調べ、まとめ終わったから、インターネットを使って調べたことが正しいか根拠になる資料を探して比較して確かめてみよう。

情報収集、読み取り、まとめ等の指導を積み重ねた上で、学習活動を生徒に委ねてみませんか？

生徒が協働的な学びから自らの学びを振り返り、調整しようとしていますか？

教科書で調べてみただけで、征韓論を反対された西郷隆盛は新政府を去っていたんだって。

なぜ征韓論は反対されたのかな？新政府を去ったのは西郷隆盛ですか？

調べたことを友達に説明していたら、自分の理解が十分でないところが見えてきました。もう一度まとめて見直してみよう。

士族の反乱が多く起こったのはどのような時期でしょうか？

「見方・考え方」等の追究の視点や方法についての指導を積み重ねていますか？

生徒は課題追究を通して理解できていますか？また、新たな課題を見出していますか？

調べてみて、新政府の政策により、士族は帯刀を禁じられ、俸禄が廃止されるなど、これまでの特権が奪われ、生活に困る者がでてきたことがわかった。また、征韓論をめぐる西郷隆盛や板垣退助は新政府を去ったこともわかった。このような新政府への不満や新政府内での対立が士族の反乱の背景にあることがわかりました。

士族以外は新政府のことをどう思っていたのかな？

新政府はどのような国づくりを目指していましたか？

そのことを確かめるにはどのような資料が必要でしょうか？

板垣退助は新政府に対して何か行動を起こしたのかな？

「歴史的分野 C(1)ア(ウ)議会政治の始まり」と国際社会との関わり」の学習へ

生徒が、社会的な見方・考え方を働かせて、課題を追究したり解決したりする学習過程の工夫をしよう！

教育課程実施状況調査 中学校 理科

実施生徒数 (人)	設問数 (問)	県正答率 (%)	全国正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
556人	32問	47.4	48.6	-1.2

		県正答率 (%)	全国正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
領域	エネルギー	42.1	44.9	-2.8
	粒子	54.7	53.7	1.0
	生命	56.3	57.2	-0.9
	地球	34.6	37.0	-2.4
観点	知識・技能	55.5	56.1	-0.6
	思考・判断・表現	38.2	40.0	-1.8
	主体的に学習に取り組む態度	41.6	42.9	-1.3
解答形式	選択式	50.1	50.6	-0.5
	短答式	45.1	47.3	-2.2
	記述式	33.1	36.8	-3.7

設問別正答率

通し 番号	解答 形式	観点			領域			問題の内容	出題のねらい	県正 答率 (%)	全国 正答 率 (%)	全国 との 差 (ポイント)
		知	思	態	エネルギー	粒子	生命					
1	選択	◎		◎	◎			物質の成り立ち	酸化銀を加熱する実験を終えて、ガスバーナーの火を消す際の注意点を理解している。	56.3	54.5	1.8
2	選択	◎			◎				金属の性質を理解している。	62.9	60.6	2.3
3	短答	◎			◎				酸化銀を加熱すると、酸素が発生することを理解している。	41.0	36.3	4.7
4	短答	◎			◎			化学変化	酸化について理解している。	79.3	80.1	-0.8
5	選択		◎		◎			化学変化と物質の質量	銅と酸化銅の質量の関係を指摘できる。	46.6	46.9	-0.3
6	短答	◎					◎	生物と細胞	細胞の核について理解している。	79.0	81.5	-2.5
7	選択		◎				◎		植物の細胞を正しく選んでいる人を指摘できる。	53.2	53.4	-0.2
8	選択		◎				◎	動物のからだのつくりとはたらき	腹式呼吸のしくみを推測できる。	50.7	49.6	1.1
9	選択	◎					◎		赤血球について理解している。	85.4	86.1	-0.7
10	選択		◎				◎	動物のからだのつくりとはたらき	アキレスけんを切ったときの足の状態を推測できる。	41.5	42.0	-0.5
11	選択	◎					◎		耳が受け取った刺激による反応が起こるときの信号の伝わり方を理解している。	76.4	74.5	1.9

12	短答	◎				◎	気象の観測	気温と飽和水蒸気量の表から、空気中にふくまれる水蒸気量を推測できる。	20.9	23.8	-2.9
13	記述	◎◎				◎		空気中にふくまれる水蒸気量が同じときに湿度が高くなる理由を説明できる。	23.4	30.7	-7.3
14	選択	◎				◎		気圧と圧力、質量と重力の関係を理解している。	15.5	16.8	-1.3
15	選択	◎				◎		単位に注意して、圧力を求める式を立てることができる。	36.5	38.6	-2.1
16	選択	◎				◎	前線の通過と天気の変化	温帯低気圧が伴う前線と、寒冷前線と温暖前線の進み方のちがいについて理解している。	42.6	46.5	-3.9
17	選択	◎				◎		寒冷前線のようなすを理解している。	48.4	51.0	-2.6
18	選択	◎				◎	日本の気象	天気図記号を正しく読み取ることができる。	41.4	39.9	1.5
19	選択	◎◎				◎		雲画像から、そのときの天気図を推測できる。	48.4	48.4	0.0
20	短答	◎		◎			電流の性質	抵抗の大きさがわかっている電熱線に電圧を加えたときの電流の大きさの求め方を理解している。	38.1	44.0	-5.9
21	短答	◎	◎					電熱線のつなぎ方と抵抗の大きさの関係と、電圧・電流の関係を表したグラフの傾きについて指摘できる。	17.3	20.0	-2.7
22	短答	◎	◎					消費した電力量を求める式のまちがっている部分を指摘できる。	45.3	51.8	-6.5
23	選択	◎		◎			電流と磁界	電磁誘導について理解している。	54.3	49.0	5.3
24	選択	◎	◎					磁石の向きや動きと誘導電流の流れる向きの関係から、発光ダイオードが点灯する条件を推測できる。	27.7	27.7	0.0
25	選択	◎		◎			電流の正体	電子や静電気について理解している。	70.1	72.4	-2.3
26	短答	◎		◎				放電について理解している。	41.7	49.4	-7.7
27	短答	◎		◎			化学変化と物質の質量	化学反応式から発生した気体を判断し、化学変化前後の質量の変化について推測できる。	27.0	30.0	-3.0
28	短答	◎		◎			化学変化	吸熱反応について理解している。	70.0	65.1	4.9
29	選択	◎		◎			化学変化と物質の質量	化学変化で反応する物質の質量の割合が決まっていることを指摘できる。	54.3	56.2	-1.9
30	選択	◎				◎	植物のからだのつくりとはたらき	双子葉類の茎の断面の維管束の並び方と道管について理解している。	40.3	46.5	-6.2
31	記述	◎◎				◎		蒸散のはたらきを説明できる。	42.8	42.9	-0.1
32	短答	◎◎				◎		単位面積あたりの蒸散量を求め、比較することができる。	37.1	38.0	-0.9

【観点について】

(知)知識・技能、(思)思考・判断・表現、(態)主体的に学習に取り組む態度

【領域について】

(エネルギー)エネルギー、(粒子)粒子、(生命)生命、(地球)地球

成果及び課題が見られる設問は、主に「県正答率」「全国正答率との差」を踏まえて、取り上げています。

【成果が見られる設問】

通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
3	41.0	36.3	短答	4.7
問題の内容	物質の成り立ち			
出題のねらい	酸化銀を加熱すると、酸素が発生することを理解している。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
23	54.3	49.0	選択	5.3
問題の内容	電流と磁界			
出題のねらい	電磁誘導について理解している。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
28	70.0	65.1	短答	4.9
問題の内容	化学変化			
出題のねらい	吸熱反応について理解している。			

【課題が見られる設問】

☆次のページに、通し番号13「気象の観測」の言語活動における改善ポイントを提示

通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
13	23.4	30.7	記述	-7.3
問題の内容	気象の観測			
出題のねらい	空気中にふくまれる水蒸気量が同じときに湿度が高くなる理由を説明できる。			
授業改善の手立て	湿度についての知識・技能を習得することを目的とせず、雲や霧と湿度の関係や洗濯指数と湿度の関係など、それぞれが調べたことを共有し理解を深めたり、図やモデルを活用しながらプレゼンテーションしたりすることで、生徒を主語にした授業展開にすることが考えられる。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
14	15.5	16.8	選択	-1.3
問題の内容	気象の観測			
出題のねらい	気圧と圧力、質量と重力の関係を理解している。			
授業改善の手立て	圧力や気圧の定義を理解したり、計算方法を習得したりするだけでなく、天気予報で使用される数値や単位との関係を調べたり話し合ったりすることで、探究の過程を進める展開が考えられる。他者との対話を通して、自分の考えを修正したり、より確かなものにしたりするほか、知識や技能を活用する機会をつくることができる。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
22	45.3	51.8	短答	-6.5
問題の内容	電流の性質			
出題のねらい	消費した電力量を求める式のまちがっている部分を指摘できる。			
授業改善の手立て	電力量の定義や関係式を覚えることを目的とせず、量的・関係的な視点で捉え、電気エネルギーの量が何により変化するのか探究する展開を考える。また、探究の過程において結果が予想と異なったときに、結果の意味を振り返り、検討し、探究の過程の見直しをもつことができるようにする。			

こんな姿をめざしたい!!

身近な事象から問題を見だし 課題を設定することができる生徒



課題の見られる設問 ⑥（1）

- 気温と飽和水蒸気量の表から、空気中に含まれる水蒸気量を求める問題。
- 空気中に含まれる水蒸気量が同じときに湿度が高くなる場合の理由を説明する問題。

分析と課題

- 情報を整理し、知識を活用することに課題が見られる。

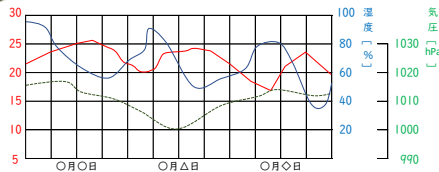
課題改善のために…

- これまで得た知識を身近な現象に当てはめ、関係性を調べ、議論し、生徒が自分自身の言葉で説明する機会をつくる。
- 生徒が「不思議」「なぜ」と感じたり、生徒の素朴概念とずれを生じさせたりする場面を設定する。



2 学年の学習で…

日々の学習における改善・充実



T:教科書にはこのようなグラフが紹介されていますが、気象庁の Web サイトには身近な観測地のデータが公開されています。

河口湖（山梨県）2023年8月5日（1時間ごとの値）

時	気圧 (hPa)	降水量 (mm)	気温 (°C)	露点温度 (°C)	湿度 (%)	風向・風速 (m/s)	日照時間	天気
5	912.5	—	21.8	20.8	94	—	—	—
6	912.7	—	22.6	20.7	89	—	—	—
7	912.6	—	23.6	20.2	81	—	—	—
8	912.4	—	26.0	20.1	70	1.9	—	—
9	912.3	—	27.9	20.7	65	1.5	—	—
10	912.2	—	29.6	19.6	55	3.1	—	—
11	911.9	—	30.8	19.8	52	3.8	—	—
12	911.6	—	28.5	20.0	60	2.7	—	—
13	911.0	—	28.0	20.8	65	2.5	—	—



S:そうそう、あの日は暑かったよね。グラフより詳しい数値が見えるね。

S:学園祭の頃にきた台風はどんな記録になっているんだろう。



S:同じ露点温度でも湿度は違うんだね。



S:本当に湿度がこんなに変わるのか確かめる方法はあるかしら。



S:「露点温度が同じときの湿度の違いはどのような規則性があるか。」考えてみたいわ。

S:モデル図を使って考えてみようかな。



S:表計算ソフトで何パターンも計算してみよう。

S:みんなに伝わりやすいまとめ方を工夫しましょう。

◎問題を見いだすための適切な事象を選択すること、これまでの学習を使い、生徒が解決可能な課題を設定することが必要です。

◎ICT機器の共同編集の機能を活用することで、より多くの情報を伝達し合えるようになり、グループの考えをまとめやすくなります。

身近な現象から問題を見だし、適切に課題づくりができる学習場面を設定し、ファシリテートしよう。

ここが POINT

